

盛岡の演劇人に 舞台の魅力を聞きました

※ここで紹介している役割は一例で、実際には多くの演劇人がキャストと照明、脚本と演出など、舞台によって違った立場で活躍しています

演劇を通して
一人では行けない世界へ

キャスト

演劇ユニット 冷蔵庫ポルカ
荒川 颯音さん

高校演劇部の同期と一緒に劇団を立ち上げ、県外の大学に進学した今でも盛岡を拠点とした活動を続けています。舞台は大きなうそ（空想）を共有できる場で、演劇を通して一人では行けない世界へも行けます。演じることで普段と違った物事の見方や考え方ができて、自分の新しい「窓」が生まれる感覚が魅力です。



出演した舞台

空間を五感で
楽しんでください！

舞台美術

カンザスハリケーン
中村 輝さん

舞台美術は、光が当たったときの見え方や役者の動線も考えてデザインするため、照明や舞台監督との打ち合わせが不可欠。自劇団では客席も含めた立体的な空間を演出するので、イメージ画や平面図・模型を作って入念に討議します。演劇は空間全体を作品として体験してもらう芸術です。五感で楽しんでほしいですね。



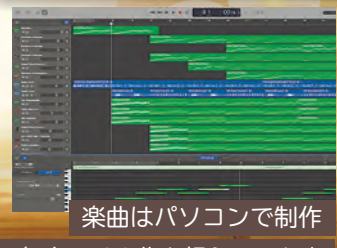
美術を手掛けた舞台と
初期イメージボード

音響も「せりふ」の
ように大切です

音響

架空の劇団
佐藤 浄さん

舞台音楽は、場面の意味や登場人物の心情を意識して作るので、演出との打ち合わせが重要です。それだけでなく、自分の感覚も大切で、例えばこの曲はこの役者に合わないとか「何か違う」と感じて変えることもあります。音響もせりふと同じく作品を左右するので、奥深く面白いですよ。



楽曲はパソコンで制作
1つの舞台で20曲を超えることも

演劇の楽しみ方は
自由です

脚本

ライナー・ノーツ
角館 信哉さん

自分が日頃感じていることなどを脚本のベースにしています。せりふは役者の個性をイメージして書くことが多いです。全ては説明せず解釈の余白を残しているの、何を面白いと感じるかは自由ですし、一緒に観た舞台をきっかけに昔話で盛り上がるのも楽しみ方の一つです。作品を通してお客様の人生に少しでもタッチできたらうれしいです。



脚本は何度も
手直しする

舞台はドキドキ
できる場所

演出

トラブルカフェシアター
遠藤 雄史さん

演出家は、脚本と役者・スタッフなどをつなぐコーディネーターです。同じ脚本でも解釈や表現の仕方で違った作品になります。舞台の面白さは、観るまで何が起こるか分からない、ドキドキできるところ。映画やテレビではできない冒険をしに、ぜひ劇場へお越しください。



時には劇場以外を舞台とした
演出も（旧石井県令邸にて）

盛岡の演劇文化

盛岡は藩政時代から芸事が好まれる土地柄で、特に河南地区には多くの演芸場があり、芝居や義太夫などの大衆芸能が演じられていたといわれます。

そして、大正2年に新馬町（現松尾町）に誕生した旧盛岡劇場は、東北初の近代的演劇専用劇場として盛岡の演劇文化の発展を支え、平成2年に同じ場所に再建された現在の盛岡劇場でも、数多くの演劇が上演されています。

盛岡には、本業の傍らでアマチュアとして活動する演劇人が多く、演劇サークルをもつ学校も多くあります。上演場所としては、盛岡劇場やプラザおでっなどの公共施設のほかに、風のスタジオ（肴町）などの民間の劇場もあり、さまざまな団体の公演が行われています。



当時最先端だった東京の帝国劇場を手本に、そのわずか2年後に完成した旧盛岡劇場

演劇ファンの声

演劇は「生もの」であり、役者さんの熱量に真剣に向き合い、一緒に空間を作っている感覚がたまりません。盛岡は間近で観劇できる機会が多くて、なじみの喫茶店に入るように気軽に楽しんでいます。観劇後に友人と語り合うのもかきえのない時間ですね。



雫石 三佳さん



観劇してみよう

これから予定されている公演の一部を紹介します。初めてでも気軽に楽しめるので、ぜひ劇場に足を運んでみてください！

もりげき八時の芝居小屋

お仕事帰りでも立ち寄れるおおむね午後8時の開演。30年近く続く長寿企画です。盛岡が誇る演劇人の良質な芝居を手ごろな料金でどうぞ。



日時 ①11月12日(水)～14日(金) ②来年1月7日(水)～9日(金) ③29日(木)・30日(金) ④3月4日(水)・5日(木)・20時～(11月14日・1月9日・30日は19時半～)
チケット 1000円(当日1200円)

架空の劇団

「スケッチブック～供養絵をめぐる物語～」
第22回盛岡市民演劇賞の大賞作品を再演。岩手・遠野の風習「供養絵」を題材にした文学作品を舞台化。一人の少女が絵を通して経験するひと夏の再生物語です。

日時 10月10日(金)19時半～、11日(土)14時～・19時～、12日(日)11時～
チケット 発売中：1800円(当日2300円)※学生料金あり

盛岡文士劇

今年で復活30年を迎える盛岡名物。岩手ゆかりの作家や文化人、アナウンサーなどが熟演を繰り上げます。



日時 12月6日(土)16時半～、7日(日)12時半～・16時半～
チケット 10月2日(休)から一般発売：4000円

宝くじ文化公演 こまつ座

「泣き虫なまいき石川啄木」
井上ひさし作の評伝劇を24年ぶりに再演。啄木の26年という短い一生の最晩年3年間を、妻・節子が回想します。

日時 12月24日(水)13時～
チケット 10月23日(木)発売：2500円(当日3000円)※宝くじ助成による特別料金



公演情報をチェックしよう

盛岡市芸術文化ポータルサイト Art of the Mori

市内を中心に行われる芸術文化に関する発表会や展示会、体験イベントなどの情報を掲載しています。また、市内で芸術文化活動に取り組む人々が、団体の紹介や会員募集、イベントなどの情報を登録・発信することもできます。

Xでも発信しています！



参加してみよう

盛岡市民演劇賞

毎年7月1日から翌年6月30日までに市内で上演される演劇を5作品以上観劇した人が投票できる部門も。たくさんの演劇を見て、あなたの推しの作品にぜひ投票してください。



第24回の対象作品一覧はこちら(随時更新)



体験してみよう

見るだけでなく、演劇を体験してみませんか？ 演じることはもちろん、音響や脚本などの講座やワークショップもあります。盛岡劇場の講座情報をチェックしてみてください。

盛岡劇場の講座・ワークショップ



子どもエンゲキ体験・はじめの一步！夏組・冬組



小・中学生を対象にした5日間の演劇ワークショップ。最終日にはミニ発表会も。

冬組は来年1月開催予定！

ゼロからみんなでつくるのでやりがいがあります。違う学校の友達ができるのも魅力。舞台は緊張するけど自分が全力で楽しんで、見ている人にも楽しさが伝わればうれしいです！
角田 香子さん(下橋中2年)

毎年2～3回開催！

演劇ワークショップ

声の出し方などお芝居の基本を学ぶ講座から、脚本の書き方を学ぶ講座、音響・照明など舞台の裏側の体験まで、さまざまなワークショップを通して演劇づくりの魅力に迫ります。



「初心者のための演劇ワークショップ」(8月30日開催)の様子



チャレンジしよう

劇団モリオカ市民

「盛岡」にとことんこだわり、公募で集まった市民と地元演劇人が団結して舞台を創り上げる「劇団モリオカ市民」(通称：モリシミ)。第10回公演『MORIOKA CHRONICLE III 岩山大作戦』が来年3月7日(土)・8日(日)に盛岡劇場で上演されます。盛岡が好き、演劇が好き、キャスト・スタッフを体験してみたい……そんなあなたの参加をお待ちしています。



対象 高校生以上(演劇経験不問)
参加費 一般5000円、高校生3000円
締め切り 10月19日(日)

市長コラム

盛岡は、藩政時代から芸事が盛んで、芝居小屋などの上演場所も多く、演劇を支える風土があったといわれています。現在では、私も出演させていただいている文士劇が全国で唯一続いているほか、数多くのアマチュア劇団が積極的に活動しています。

演劇には、役者だけでなく脚本や演出、舞台美術や音響・照明など多くの人が関わり、それぞれの思いが詰まっています。これからも盛岡の演劇文化が続いていこう、ぜひ劇場に足を運んで、共に舞台を盛り上げましょう。

盛岡市長 内館 茂

